

校長室だより

No. 40

平成29年2月24日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず  
加藤嘉一

## 梅 開花

今週は、春を呼ぶ嵐とでもいうのでしょうか。大変強い風が吹き寒さを感じる日がありました。寒さは続きますが、学校の梅はとても美しく咲きました。写真は、正門を入ってすぐの梅です。モクレンのつぼみもつきました。プールのそばの運動場に面した梅も咲いています。春が近いことを知り、ほっとします。御来校の際は、ちょっと眺めてみてください。



## 感謝の気持ちを伝えて — 「感謝する会」 —

学校は、今年もたくさんの方々にお世話になりました。登下校や校外学習の見守り、授業の支援、読み聞かせなど、子供たちのために様々な場面で活動していただき「感謝」の気持ちでいっぱいです。本年度「感謝する会」に参加していただいた方々は、以下の方々です。

- 交通指導員さん、登下校ボランティアの方々
- 民生委員さん、主任児童委員さん
- 「るるの会」読み聞かせボランティアグループの皆さん
- 地域講師として授業・クラブなど教育活動にかかわっていただいた方々
- 明生クラブ、碧の会の皆さん



23日(木)朝に行った「感謝する会」では、子供たちが「ありがとうの花」(作詞・作曲：坂田おさむ、編曲：池毅)を、心を込めて歌いました。この歌に出てくる「♪まちじゅうに さいてる ありがとうの花 かぜにふかれ あしたに とんでいく ありがとうの花がさくよ きみのまちにも ホラ いつか ありがとうの花がさくよ みんなが わらってるよ♪」の

部分を聞くと、これが中部学区の姿であり皆さんの子供への願いそのもののように感じます。感謝の気持ちが、ボランティアをしてくださった皆さんに届いたのなら幸いです。

### 二村さん、成瀬さん（農業体験）に感謝状贈呈

本校を卒業した現在 32 歳くらいまでの方々は、たぶん田植えや稲刈り体験をさせてもらって育った方々ではないでしょうか。二村さんは、二十数年、成瀬さんは十数年もの長い間、本校の子供たちのために、機械を使わない田植え・稲刈りの体験をさせてくださいました。苗そのものや田植えに使うロープの準備、稲刈りまでの間の稲管理、鎌を使った稲刈りのサポートなど、そのための準備や片付けは大変なものです。

このたび加齢のため、この活動に一区切りをつけられたいというお申し出がありました。この件について PTA の役員会で話題にしたところ、学校と PTA の連名で感謝状を贈らせていただくことになり、PTA 委員会で御承認いただき、今回の感謝する会で贈呈することになりました。お二人には、長い間の御貢献に感謝するとともに、今後の御健勝を祈念しています。

### お別れの会の場所を変えて ー卒業式当日の 1～3 年と 6 年生とのお別れー

早いもので、6 年生が卒業するまでの残りの日にちが 1 か月を切りました。6 年生はなわとび大会でも記録への挑戦、小さい学年へのかかわりなど、本校の最高学年として立派な姿を見せています。今、ぐんと頼もしさと優しさが高まってきているように感じます。

その 6 年生を送る卒業式。毎年卒業式の日、1～3 年生は会場に入ることができないため、8 時 45 分から 9 時 10 分の時間を使って、運動場で「お別れの会」を行っていました。雨天の場合は、校舎 2 階の渡りに会場を変更です。今年は、この「お別れの会」を、天気に関係なく体育館で行いたいと考えています。これは、1～3 年生も 4・5 年生と同じ空間で、同じ雰囲気を感じさせたいという思いからです。

方法としては、4・5 年生と保護者が座ることになる席に 1～3 年生が座ります。短い時間ですが、通学班やペア学級等で交流してきた子たちとも、この卒業式会場という特別な空間で最後の時を過ごしたいと思います。

#### 【お別れの会 次第】

～卒業生入場～

- 開会の言葉
- 教頭先生のお話
- 在校生お別れの言葉
- 卒業生お別れの言葉
- 校歌斉唱
- お別れのあいさつ
- 閉会の言葉

～卒業生退場～

※卒業生退場後、1～3 年生は通学団ごとに下校する